



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 森 武
(コード番号：3160)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 山 大 介
兼 総 務 部 長
(TEL. 0584-89-7777)

(訂正・数値データ訂正) 平成 27 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)
の 一 部 訂 正 に つ い て

当社は、平成 27 年 4 月 30 日付「社内調査委員会からの調査報告書の受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正を進めてまいりました。

このたび、平成 26 年 9 月 29 日付「平成 27 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)」の訂正及び数値データの訂正が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	11,697	7.6	14	—	10	—	△73	—
26年5月期第1四半期	10,866	8.3	△114	—	△111	—	△81	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △39百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△12.34	—
26年5月期第1四半期	△13.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	17,306	1,862	10.8	314.58
26年5月期	17,388	1,935	11.1	326.86

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 1,862百万円 26年5月期 1,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,900	14.2	△52	—	△55	—	△49	—	△8.36
通期	51,600	12.2	300	73.7	300	76.2	185	—	31.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	6,021,600 株	26年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	100,004 株	26年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	5,921,596 株	26年5月期1Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、消費増税の影響も和らぎつつあり、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は116億97百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は14百万円（前年同期は営業損失1億14百万円）、経常利益は10百万円（前年同期は経常損失1億11百万円）、連結子会社株式会社マリンドリカのナマコ取引に関して水産品事業関連損失68百万円を特別損失に計上したこと等により四半期純損失は73百万円（前年同期は四半期純損失81百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は73億37百万円（前年同期比9.8%増）となり、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成26年6月に尾張旭店（愛知県尾張旭市）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開など、お客様目線に立った店舗づくりに努めてまいりました。前連結会計年度に開設した伊勢店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は40億11百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は2億73百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として39店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、主力商品である貝類などの水産品の販売強化、新規得意先の開拓など販路の拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は3億47百万円（前年同期比10.9%増）となり、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が1億41百万円減少し、貸倒引当金が98百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億85百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億40百万円増加したこと等により、全体で2億3百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して82百万円減少し、173億6百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が4億90百万円増加したこと等により、流動負債は全体で4億15百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が4億45百万円減少したこと等により、全体で4億24百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して9百万円減少し、154億43百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して72百万円減少し18億62百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成26年7月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が6,232千円増加し、利益剰余金が4,063千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,293	721,995
受取手形及び売掛金	4,900,470	4,759,017
有価証券	14,495	—
商品	2,766,631	2,707,258
貯蔵品	9,138	7,538
繰延税金資産	89,632	72,668
その他	995,607	1,164,613
貸倒引当金	<u>△280,397</u>	<u>△378,904</u>
流動資産合計	<u>9,339,872</u>	<u>9,054,186</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>3,917,511</u>	<u>4,057,861</u>
その他(純額)	<u>986,394</u>	<u>997,033</u>
有形固定資産合計	<u>4,903,906</u>	<u>5,054,894</u>
無形固定資産	<u>56,295</u>	<u>53,631</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692,845	1,759,597
その他	<u>1,417,836</u>	<u>1,406,214</u>
貸倒引当金	<u>△21,847</u>	<u>△21,901</u>
投資その他の資産合計	<u>3,088,834</u>	<u>3,143,911</u>
固定資産合計	<u>8,049,036</u>	<u>8,252,437</u>
資産合計	<u>17,388,908</u>	<u>17,306,623</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,901,028	4,986,088
短期借入金	2,602,000	3,092,500
1年内返済予定の長期借入金	2,087,192	1,987,424
未払法人税等	48,965	6,711
賞与引当金	151,713	87,163
ポイント引当金	37,033	36,342
その他	780,384	827,485
流動負債合計	10,608,316	11,023,715
固定負債		
長期借入金	3,994,834	3,549,105
役員退職慰労引当金	226,293	231,957
退職給付に係る負債	244,269	253,691
資産除去債務	253,493	258,921
その他	126,147	126,410
固定負債合計	4,845,037	4,420,085
負債合計	15,453,353	15,443,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,084,926	978,189
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	1,904,887	1,798,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,698	76,310
繰延ヘッジ損益	△17	200
退職給付に係る調整累計額	△13,013	△11,839
その他の包括利益累計額合計	30,667	64,671
純資産合計	1,935,554	1,862,822
負債純資産合計	17,388,908	17,306,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	10,866,637	11,697,773
売上原価	8,795,556	9,462,273
売上総利益	2,071,080	2,235,500
販売費及び一般管理費	2,185,208	2,220,568
営業利益又は営業損失(△)	△114,127	14,931
営業外収益		
受取利息	3,090	2,790
受取配当金	2,996	3,148
受取賃貸料	10,836	18,944
受取手数料	4,757	4,985
その他	11,436	4,848
営業外収益合計	33,118	34,716
営業外費用		
支払利息	12,832	11,381
賃貸費用	9,434	19,321
固定資産除売却損	5,841	6,448
その他	2,375	1,933
営業外費用合計	30,482	39,084
経常利益又は経常損失(△)	△111,492	10,563
特別損失		
水産品事業関連損失	—	68,762
特別損失合計	—	68,762
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,492	△58,198
法人税、住民税及び事業税	2,287	2,347
法人税等調整額	△32,285	12,519
法人税等合計	△29,998	14,866
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,494	△73,064
四半期純損失(△)	△81,494	△73,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,494	△73,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,474	32,612
繰延ヘッジ損益	△649	217
退職給付に係る調整額	—	1,174
その他の包括利益合計	△2,124	34,003
四半期包括利益	△83,618	△39,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,618	△39,060
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,682,276	3,870,701	<u>313,660</u>	<u>10,866,637</u>	—	<u>10,866,637</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,225	31,143	40,368	△40,368	—
計	6,682,276	3,879,926	<u>344,803</u>	<u>10,907,006</u>	△40,368	<u>10,866,637</u>
セグメント利益又は損失(△)	△68,395	232,700	<u>△37,957</u>	<u>126,347</u>	△240,475	<u>△114,127</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,475千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,337,975	4,011,974	<u>347,824</u>	<u>11,697,773</u>	—	<u>11,697,773</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,281	14,169	18,450	△18,450	—
計	7,337,975	4,016,255	<u>361,993</u>	<u>11,716,224</u>	△18,450	<u>11,697,773</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>△33,710</u>	273,903	<u>△12,754</u>	<u>227,438</u>	△212,507	<u>14,931</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,507千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(訂正前)



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	12,860	17.1	44	—	47	—	25	—
26年5月期第1四半期	10,978	9.4	△112	—	△111	—	△81	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 59百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	4.33	—
26年5月期第1四半期	△13.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	17,679	2,235	12.6	377.55
26年5月期	17,670	2,209	12.5	373.17

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 2,235百万円 26年5月期 2,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,900	11.4	△52	—	△55	—	△49	—	△8.36
通期	51,600	6.7	300	25.3	300	26.6	185	42.9	31.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	6,021,600 株	26年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	100,004 株	26年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	5,921,596 株	26年5月期1Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、消費増税の影響も和らぎつつあり、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は128億60百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は44百万円（前年同期は営業損失1億12百万円）、経常利益は47百万円（前年同期は経常損失1億11百万円）、四半期純利益は25百万円（前年同期は四半期純損失81百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は73億37百万円（前年同期比9.8%増）となり、営業損失は34百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成26年6月に尾張旭店（愛知県尾張旭市）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開など、お客様目線に立った店舗づくりに努めてまいりました。前連結会計年度に開設した伊勢店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は40億11百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は2億73百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として39店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、主力商品である貝類に加ネナマコなどの水産品の販売強化、新規得意先の開拓など販路の拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は15億10百万円（前年同期比255.1%増）となり、営業利益は17百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が1億41百万円減少したこと等により、流動資産は全体で1億85百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億38百万円増加したこと等により、全体で1億94百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して9百万円増加し、176億79百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が4億90百万円増加したこと等により、流動負債は全体で4億8百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が4億45百万円減少したこと等により、全体で4億24百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して16百万円減少し、154億43百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して25百万円増加し22億35百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成26年7月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が6,232千円増加し、利益剰余金が4,063千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,293	721,995
受取手形及び売掛金	4,900,470	4,759,017
有価証券	14,495	—
商品	2,766,631	2,707,258
貯蔵品	9,138	7,538
繰延税金資産	89,632	72,668
その他	995,607	1,164,613
貸倒引当金	<u>△17,741</u>	<u>△16,024</u>
流動資産合計	<u>9,602,528</u>	<u>9,417,066</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,920,528	4,059,059
その他(純額)	<u>992,986</u>	<u>997,740</u>
有形固定資産合計	<u>4,913,515</u>	<u>5,056,799</u>
無形固定資産	67,694	64,065
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692,845	1,759,597
その他	1,415,328	1,403,886
貸倒引当金	<u>△21,847</u>	<u>△21,901</u>
投資その他の資産合計	<u>3,086,326</u>	<u>3,141,583</u>
固定資産合計	<u>8,067,536</u>	<u>8,262,448</u>
資産合計	<u>17,670,064</u>	<u>17,679,515</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,901,028	4,986,088
短期借入金	2,602,000	3,092,500
1年内返済予定の長期借入金	2,087,192	1,987,424
未払法人税等	55,919	6,711
賞与引当金	151,713	87,163
ポイント引当金	37,033	36,342
その他	780,384	827,485
流動負債合計	10,615,271	11,023,715
固定負債		
長期借入金	3,994,834	3,549,105
役員退職慰労引当金	226,293	231,957
退職給付に係る負債	244,269	253,691
資産除去債務	253,493	258,921
その他	126,147	126,410
固定負債合計	4,845,037	4,420,085
負債合計	15,460,308	15,443,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,359,127	1,351,081
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,179,088	2,171,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,698	76,310
繰延ヘッジ損益	△17	200
退職給付に係る調整累計額	△13,013	△11,839
その他の包括利益累計額合計	30,667	64,671
純資産合計	2,209,756	2,235,713
負債純資産合計	17,670,064	17,679,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	10,978,422	12,860,626
売上原価	8,905,926	10,593,664
売上総利益	2,072,495	2,266,962
販売費及び一般管理費	2,185,208	2,222,291
営業利益又は営業損失(△)	△112,712	44,670
営業外収益		
受取利息	3,090	2,790
受取配当金	2,996	3,148
受取賃貸料	10,836	18,944
受取手数料	4,757	4,985
その他	10,021	11,802
営業外収益合計	31,703	41,671
営業外費用		
支払利息	12,832	11,381
賃貸費用	9,434	19,321
固定資産除売却損	5,841	6,448
その他	2,375	1,933
営業外費用合計	30,482	39,084
経常利益又は経常損失(△)	△111,492	47,257
特別損失		
減損損失	—	6,945
特別損失合計	—	6,945
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△111,492	40,311
法人税、住民税及び事業税	2,287	2,347
法人税等調整額	△32,285	12,339
法人税等合計	△29,998	14,686
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,494	25,625
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,494	25,625

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△81,494	25,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,474	32,612
繰延ヘッジ損益	△649	217
退職給付に係る調整額	—	1,174
その他の包括利益合計	△2,124	34,003
四半期包括利益	△83,618	59,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,618	59,629
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,682,276	3,870,701	425,445	10,978,422	—	10,978,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,225	31,143	40,368	△40,368	—
計	6,682,276	3,879,926	456,588	11,018,791	△40,368	10,978,422
セグメント利益又は損失(△)	△68,395	232,700	△36,542	127,762	△240,475	△112,712

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,475千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,337,975	4,011,974	1,510,676	12,860,626	—	12,860,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,281	14,169	18,450	△18,450	—
計	7,337,975	4,016,255	1,524,845	12,879,076	△18,450	12,860,626
セグメント利益又は損失(△)	△34,226	273,903	17,501	257,177	△212,507	44,670

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,507千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外商事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結会計期間において6,945千円であります。